

町民ワークショップニュースレター

発行日
令和8年1月

第七次函南町総合計画策定のためのワークショップが開催されました！！

今後10年間の町の総合的な指針である総合計画の策定にあたり、町民の皆様から、子育て・文化・スポーツ（教育）分野での現状と課題、まちづくりの方向性・施策アイデアなどについてワークショップ（WS）形式で意見交換を行いました。WSは4つの部門ごとに2回ずつ開催することを予定し、今回は2回目のWSが開催されましたのでお知らせします。

日 時：令和7年11月20日（木）13:30～15:35

会議場所：函南町役場 2階 大会議室

参 加 者：31名



主な意見交換内容

5つのグループに分かれて、2つのテーマで「行政が行うこと」「協働でできること」「町民ができること」について意見交換をしました。主な内容は以下のとおりです。

検討テーマ① 「人口減少における公共施設の再編について」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 窓口で電子申請支援、「電子申請>紙申請」になるようなメリットをつくる（早く予約がとれる等） 施設利（使）用料の見直し 貸出しルールの見直し 空調・Wi-Fi等、設備の見直し・導入 	<ul style="list-style-type: none"> 公園に店舗（カフェ） 管理側も利用者側も使いやすい電子申請フォームをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある施設の活用→集まり、会議等 予約・使用のモラル向上 スマホ講座受講、電子申請をまずは利用してみる
教育施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の予約が取れないことに関して夜間、休日等の学校の教室が使えるようにならないか 保育園・幼稚園・小中学校の在り方（再編計画策定） 	<ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中の統廃合←地図住民との意見調整・合意形成 空き部屋を住民の方が提案した使い方で提供 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアで勉強を見てくれる場をつくる 空き教室を利用してやりたい事のアイデアを出すこと
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 現公共施設を民間コミュニティで運営できるかの意見交換会の開催 「施設ごとの見える化」利用率、老朽化具合を町民に共有する→HP広報 「運営の効率化」民間活力の導入サービスの質を維持しながらコストを抑える 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化・利用率の見える化 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易清掃、草刈り 
子どもの安全・安心	歩道をつくる（熱函）	—	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの居場所・コミュニティ」地域で見守る意識、公民館などで交流できると良い
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 得意分野の人材登録制度・管理 校区見直し 憩の家が欲しかった、年寄りのための施設が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者として一緒に楽しむ・交流する、清掃、維持のための取組 文化・スポーツなどの地域化 	<ul style="list-style-type: none"> 町内外での交流イベントの場 特技のある方、同じ世代の方を増やす
就業者・就業先	<ul style="list-style-type: none"> セミナーの開催 企業を誘致する土地が大事（ない） 	—	—
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> シャトルバス スポーツ公園までに行く交通の便が不便 コミュニティバス増所・増数（移動、交通問題） 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援の充実 コミュニティバスルートの見直し。 	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> HPの活用（見易い、簡単アクセス）見たいページに辿り着けない ガバメントクラウドファンディングの検討・適用 近隣市町の関係各署との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 広域でできるものか単独で市町がやるべきかの線引き 人財 	<ul style="list-style-type: none"> 町政に対する意見

検討テーマ② 「地域コミュニティの活性化について」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
自治会・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・転入時にどの組なのか周知していく→了承とすれば自治会へ情報提供して自治会から声をかける ・自治会に加入した場合のメリット、しなかった場合のデメリット（具体例）を広報→加入者を増やす ・区への加入方法 TEL→電子化 ・〇組向けアンケートの実施 ・組役員会、集まるのが大変（オンライン開催できるよう町がサポート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報を新聞折り込みに ・組、当番制でいいのでは ・役員の負担が減るようなしきみを再検討（出席する会議等を減らす） ・区の活動を広報でコラム化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員の役割の軽減 ・防災訓練と自主防災の連携 ・何がメリットになるのか意見をあつめる 
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流の場ができないか ・交流の場に参加することのメリット周知 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・スポ少をスポーツクラブへ（年齢制限をとる） ・防災を通じたコミュニティ交流
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・より些細な事でも地域活動として参加できることの周知・活動の幅を増やす ・アイデア・やりたいことの吸い上げ ・イベント会場の提供→会場として使用できる施設を増やす、周知する ・人材（財）の確保、キーマンの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き教室の活用 ・イベントの運営（行政・民間・町民がそれぞれ役割を持つ） ・地域見守り活動名簿の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存スポーツクラブ等に気軽に参加できる機会をつくる ・参加したいイベントのアイデアを出す、やりたいことを発信（SNS等）
子ども・若者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを増やす施策から町外転出させない（異動させない）施策に転換 ・クラブ活動（小）地域の指導者の募集を大々的に行う、勉強会（中）として子どもたちに自分の得意なことで教えてくれる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加したくなるイベント（親も参加しようと思う） 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が参加したいイベントを世代主体でやりやすい環境づくり ・行事・集まり減らす+区を超えた子ども会合体（負担軽減）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の明確化 ・コミュニティ課 総務部 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場経営希望者へ情報提供 ・町に新しい課を作り民間の人と一緒に観光などに力を入れられないか 	—

ワークショップへの主な意見・感想

ワークショップの後、皆さんからたくさんのご意見を頂きました。主な意見を以下に記載しています！

●ワークショップで発言できなかったこと、後日気付いた点

今後は、住んでいるから、近所だから、という昔ながらの地縁的なつながりではなく、防災の為、高齢者見守りの為、健康維持のため等の具体的な目的を持った繋がりを築いていくという意識を、今〇組となっている人も含め、なるべく多くの人が共有出来たらいいのではないかと思いました。／情報の共有、PR等、SNSを活用し若い世代の方たちにも知ってもらえるような工夫があるといいのでは。

●”町民ワークショップ”に参加してみた感想・意見・要望

顔なじみの方が多く、意見交換しやすい一方で、同じ層での話し合いに偏りがちな面もあると感じました。今後は学生やこのテーマに係る事業者など、より幅広い年代、立場の方にも参加して頂けると、更に多様な視点が加わり議論が深まると思います。／今回の2回のワークショップだけでなく、もっと多くの町民に参加してもらえるようなワークショップを平日だけでなく、土日等を使って行ってもいいかなという意見がグループで出ました。

今後も地域の皆さんからのご意見をお待ちしています！

函南町ホームページ上で、第七次函南町総合計画策定に向けたご意見を募集しています。

募集期限：令和8年3月31日（火曜日）

URL: <https://www.town.kannami.shizuoka.jp/cgi-bin/inquiry.php/28>

